

## 総務市民文教委員会行政視察報告書

先進地視察における調査結果について、下記のとおり報告します。

令和元年11月11日

光市議会議長 西村 憲治 様

### 総務市民文教委員会

委員長	笹井 琢
副委員長	岸本 隆雄
委員	木村 信秀
委員	田邊 学
委員	中本 和行
委員	仲山 哲男
委員	西村 憲治（議長）
委員	森重 明美
随 行	松尾 真

### 記

- 1 視察年月日 令和元年10月10日（木）
- 2 視察場所 市内消防団機庫：3箇所、市内防災倉庫：4箇所、市内避難所：2箇所
- 3 視察調査結果 別紙のとおり

総務市民文教委員会行政視察調査結果

消防団機庫

場所	<b>大和コミュニティセンター内（第9分団・第10分団）</b>
広さ・構造	123㎡ 鉄骨造 平屋建て 団員詰所・トイレあり
設置年	平成31年3月に移転新設
備品	消防自動車1台 積載車2台 ポンプ・無線機一式
写真	 

場所	<b>周防地区（第8分団）</b>
広さ・構造	105㎡ 鉄骨造 平屋建て 団員詰所・トイレあり
設置年	平成4年11月に新設
備品	積載車1台 ポンプ・無線機一式
被災状況	平成31年7月の西日本豪雨により機庫内に浸水（GL170cm） 積載車が浸水 発電機・チェーンソー・無線機・機材等が水損
写真	 

場所	<b>三井地区（第2分団）</b>
広さ・構造	100㎡ 鉄骨造 平屋建て 団員詰所・トイレあり
設置年	昭和58年10月に新設
備品	積載車1台 ポンプ・無線機一式
被災状況	平成31年7月の西日本豪雨により機庫内に浸水（GL60cm） シャッター破損、発電機・チェーンソー・無線機・電気機器等が水損
写真	 

## 防災倉庫

場所	<b>あいばーくひかり</b>	※敷地内の東側で光井側に隣接
種別	基幹型倉庫	※基幹型防災倉庫は市内6か所に設置
広さ・構造	9.3 m <sup>2</sup> ×2基 プレハブ	
設置年	令和元年に新設	
備品	飲料水 1000 本・食糧 1000 食・毛布 200 枚・簡易トイレ 5 台他	
写真	 	

場所	<b>周防コミュニティセンター</b>	※周防コミュニティセンター建物の裏
種別	その他倉庫	※その他防災倉庫は市内4か所に設置
広さ・構造	7.0 m <sup>2</sup> ×1基 プレハブ	
設置年	令和元年に建て替え	
備品	基本飲料水 100 本・食糧 100 食・毛布 30 枚・簡易トイレ他	
写真	 	

場所	<b>島田中学校</b>	※島田中学校正門の右上 武道館の横
種別	その他倉庫	※その他防災倉庫は市内4か所に設置
広さ・構造	9.3 m <sup>2</sup> ×1基 プレハブ	
設置年	令和元年に新設	
備品	基本飲料水 100 本・食糧 100 食・毛布 30 枚・簡易トイレ他	
写真	 	

場所	<b>三井小学校</b>	※三井小学校体育館の裏側
種別	その他倉庫	※その他防災倉庫は市内4か所に設置
広さ・構造	9.3 m <sup>2</sup> ×1基 プレハブ	
設置年	令和元年に新設	
備品	基本飲料水 100 本・食糧 100 食・毛布 30 枚・簡易トイレ他	
写真	 	

### 避難所

場所	<b>島田中学校体育館</b>
災害の種別	指定非難所だが土砂災害については不適合
広さ・構造	860 m <sup>2</sup> 鉄骨造 S43年建築
収容能力	約100人程度
トイレ	武道場：和式（バリアフリー対応なし） 校舎内：洋式（バリアフリー対応） 夜間は施錠し使用できない
備品	100食・毛布30枚・ロールマットあり・テレビ
写真	 

場所	<b>三井小学校体育館</b>
災害の種別	指定非難所でありすべての災害に適合
広さ・構造	747 m <sup>2</sup> 鉄骨造 S48年建築
収容能力	約100人程度
トイレ	体育館内、和式（バリアフリー対応なし）
備品	100食・毛布30枚・ロールマットあり・テレビ
写真	 

## 各委員の所感

### **笹井 琢**

#### ○消防団機庫について

昨年7月の西日本豪雨では周防地区と三井地区の消防団機庫が浸水し、無線機等が使用できなかった。今後も同規模の豪雨は十分想定されるので、消防機庫の高台への移設が必要である。

#### ○防災倉庫について

あいぱ一く内の防災倉庫は、車両の横付けができない。三井小学校内の防災倉庫についても、車両の進入路確保に課題が残る。防災倉庫への進入路を舗装し、他の車両が停車しないような表示が必要。

#### ○避難所について

土砂崩れ・河川氾濫・津波・地震など、災害種別は多様であるが、その度に避難所が変更になると住民は混乱する。立地的にやむを得ない避難所もあるが、災害種別を問わず利用できる三井小学校や島田中学校の指定は適切と考える。ただし、島田中学校の体育館は急傾斜地に面しているので、武道館も併用することが望ましい。

### **岸本 隆雄**

#### ○消防団機庫について

大和コミュニティセンター敷地内の消防団機庫は、新築の建物なので良く整理整頓ができていました。備品など全てを新しくされていると思っておりましたが、今まで使用されていたテーブル、イスなどを使われており、経費の削減も出来ていました。

周防グランド横の消防団機庫は、今年の7月豪雨の時、機庫は土間から1 m30cmの所まで浸水したそうです。災害の日には、消防車を隣りの一段高いグランドに駐車していたそうですが、それでも浸水してしまい、電気関係の部品を全て交換したそうです。違う場所に移転したら良いのでは無いでしょうか。

J A三井支所横の消防団機庫も今年の7月豪雨の時に浸水したそうです。違う場所に移転した方が良いのでは無いでしょうか。

#### ○防災倉庫について

あいぱ一く光、周防コミュニティセンター、島田中学校、三井小学校を視察。

- ・全ての防災倉庫が狭いと感じました。
- ・倉庫への車両の出入り口が、どこも狭いと感じました。
- ・倉庫に屋根がないので、積み込み作業中に物質が濡れてしまうのではないのでしょうか。
- ・保管物資の種類と数量が少ないのではないのでしょうか。
- ・それぞれの施設の室内に保管はできないのでしょうか。
- ・食べ物が保管できないのが不便だと感じました。

### ○避難所について

- ・あいぱーく光と島田中学校は、避難所建物内にトイレが設置され、便利であると思いました。
- ・バリアフリー化していない施設がありました。

## **木村 信秀**

### ○消防団機庫について

消防団機庫については、大和コミュニティセンター、周防グランド横及びJ A周南三井支所横の視察を行った。特に周防と三井においては、島田川傍という環境にあり、機庫自体が被災した状況をつぶさに視察することが出来た。今後の参考としたい。

### ○防災倉庫について

市内6か所の防災倉庫のうち、4か所について視察を行った。まず、光スポーツ公園から移設した、あいぱーく光西側駐車場傍の空きスペースに設置した防災倉庫2棟を視察し、説明を受けた。次に、昨年7月豪雨災害において被災した、地区の周防コミュニティセンターに設置した防災倉庫を視察した。

### ○避難所について

島田中学校及び三井小学校の避難所を視察するとともに、避難所傍に新設した防災倉庫についても視察した。どの倉庫においても最新の備品が備え付けてあり、今後の災害において市民の安全と安心に寄与するものと感じられた。今後も定期的に物資の管理とともに、管理する中身の入れ替えについても検討・見直しを図っていただきたい。

## **田邊 学**

### ○消防団機庫について

地域防災力の充実強化を図るため、消防車両や資機材を格納する施設として、消防団機庫を設置している。近年では消防団活動の多様化に対応するため、参集団員の詰所やトイレなどを配置し、消防団の「拠点施設」として整備されている。視察した大和コミュニティセンター、周防グランド横、J A三井支所横では、きれいに整理整頓がなされていた。設置場所について、昨年7月の豪雨災害で浸水被害を受けた周防グランド横とJ A三井支所横の消防機庫については、現状のままでは再度被害を受ける可能性があるため、早急に対応が必要であると考えます。

### ○防災倉庫について

昨年7月の豪雨災害で得た教訓を基に、市内4ヶ所の防災倉庫の再整備を行ったという事で、光スポーツ公園の防災倉庫をあいぱーく光に移設し、基幹型防災倉庫と位置付けて整備されたが、昨今の豪雨災害に鑑みると少し手狭に感じた。他の防災倉庫（周防コミュニティセンター、島田中学校、三井小学校）についても手狭に感じました。備蓄品は、避難所開設後、直ちに必要となる、ロールマット、毛布、発電機、投光器、簡易トイレ、アルファ化米、保存水などであるが、もう少し増量した方が望ま

しいと感じた。また、現状の場所は妥当であると思われるが、搬送するための通路を十分に確保する必要があると感じた。更に、炊き出しの道具等についても保管する必要があるのではないかと感じた。

#### ○避難所について

昨年7月の豪雨災害では、周防、三井、上島田地域において浸水による被害が大変大きかったが、その教訓を基に、島田川流域地区の避難所については強化することが望まれる。視察した島田中学校と三井小学校においては、防災倉庫もセットであるが、昨今の豪雨災害に鑑みると、生活道路が寸断される可能性もあり、そのような想定の中で避難することが重要となるため、避難訓練や避難経路等の対策も望まれる。避難所に避難する方は健常者だけではないため、スロープの整備やトイレの整備等も今後の課題となる。

### **中本 和行**

#### ○消防団機庫について

第9分団・第10分団（大和コミュニティセンター）の旧団機庫については老朽化が著しく、その機能を果たせない状況でしたが、現在はコミュニティセンター敷地内に、この地域の災害予防に積極的に努められるよう拠点施設として新たに整備され、安心安全です。

第8分団消防機庫（周防グランド横）及び第2分団消防機庫（JA三井支所横）については、現状では団員の詰所が狭いため会議等も出来ず、分団員の活動の拠点としては狭く不便です。また、今後も豪雨災害による浸水が予測される中で、大規模自然災害の発生に備え、この地区の為に団員が活動できるよう、地区住民が安心できる拠点施設として整備しなければいけないと感じました。

#### ○防災倉庫について

あいぱーく光の敷地内には、地域防災力の充実を図るため、新たな基幹防災倉庫を設置しました。被害を受けにくい場所で、かつ、被害を受けにくい構造であること。また、災害発生時には被災者の生命を守ると共に、避難生活が快適に過ごせるよう配慮しなければなりません。地域防災の備えとしての物資が備蓄してありますが、備蓄物資が物足りない不安も有り、数年間かけて計画的に備蓄することが必要なのかもしれないと。

周防コミュニティセンターについては、昨年の豪雨災害でこの地域が甚大な被害を受けたため、センターの敷地内に新たに追加で防災倉庫が設置されました。被災者の生命を守るとともに快適に過ごせるよう配慮しなければなりません。この備蓄物資についても物足りない不安があり、数年間かけて計画的に備蓄しなければならないと思います。

#### ○避難所と防災倉庫について

島田中学校及び三井小学校については、地域防災力の充実を図るため、この度、新たに避難所に併設して防災倉庫を設置しました。地域防災の備えとして物資等が備蓄され、避難者に対して不安なく快適に避難生活が送れるよう配慮しなければなりません。

んが、ここの備蓄物資についても物足りない不安がありました。

避難所としては、高齢者や障害者に配慮し、バリアフリー化しなければなりませんし、夏場の暑さ対策、冬場の寒さ対策についても十分考えないといけないと感じました。まだまだ大きな課題はありますが、年次的、計画的に考え、充実した避難所にしなければいけません。

## **仲山 哲男**

### ○消防団機庫について

大和コミュニティセンターの機庫は、新しいだけに充実したものであったが、浸水被害のあった周防・三井の2箇所は、今後を考えると、浸水の影響を受けないところへの移設も含め、検討が必要と思われる。

### ○防災倉庫について

基幹倉庫であるあいぱ一くの倉庫と避難所に付随する周防コミセン、島田中、三井小の3箇所を見たが、避難者数や期間等の想定にもよるが、避難所の倉庫の短期間分と運搬元の基幹倉庫分合わせてみても、資材や備蓄物資が、意外と心もとない印象であった。

また、日射により庫内が高温になることも想定され、備蓄物品によっては保管状況に課題があると思われる。あいぱ一くの倉庫の前には車が寄せられない状況であり、改善が必要と考えられる。

### ○避難所について

三井小と島田中の体育館ともに、これも避難者数や期間等の想定によるが、トイレの数や位置が課題であるように感じた。この2箇所に限らず、各避難所について様々な課題があると思われるので、宿泊型避難所開設訓練を行い、課題の洗い出しを行い、改善しておく必要性を感じた。

## **西村 憲治**

### ○消防団機庫について

- ・周防地区ではG L 1.7m、三井地区ではG L 0.6mの冠水に鑑み、早期の建て替えをお願いします。

### ○防災倉庫について

あいぱ一く光敷地内防災倉庫

- ・倉庫前の通路を、台車が倉庫前まで来れる様に整備してほしい。
- ・緊急車両の駐車優先に配慮して、駐車場を整備してほしい。

### ○避難所について

- ・島田中学校校門の横断側溝は、取り換え改修をお願いします。
- ・三井小学校体育館の入口とトイレは洋式化及びバリアフリー対応をお願いします。また避難者の座る、横になるマットやシートなどがもっと必要と感じます。避難所体育館外壁の塗装をお願いします。

## **森重 明美**

### ○消防団機庫について

新設の大和コミュニティセンターでは無線の連絡形態や経路の説明を受け、現場での初動体制が十分に理解できました。また、周防グランド横とJA三井支所横の消防機庫では、昨年7月の浸水跡が柱に明確に残されており、特に、消防自動車の高台移送場所など、事前の検討も経験から学ぶべき課題であると感じました。

### ○防災倉庫と避難所について

昨年7月の豪雨災害を受けて、市内4か所に設置された防災倉庫の場所と現状を視察しました。

光スポーツ公園分を福祉避難所にもなるあいぱーく光の敷地内に移設した基幹防災倉庫については、河川との距離が近いこと、また、物資搬出時における足場の不安定さが懸念されますが、とりあえずの初期的な防災備品や、避難所対応の物資などが備蓄されていることを確認しました。

周防コミュニティセンター、島田中学校及び三井小学校に増設された防災倉庫については、特に島田川流域の浸水危険地域にあり、水防災発災後には道路の浸水等により現地に赴けない状況が考えられ、避難所に隣接した防災倉庫の備蓄・ストックは、重要な視点であると感じます。